

フロムワンとお取引頂きましたユーザーさまにお届けするニュースレター。

(有)フロムワン

「1から」通信

発行部数

250部

平成20年10月号(13号)

川口市東川口1-16-6-2F

TEL 048-291-2240

FAX 048-291-2242

発刊者 山本 達也

朝、夜とめつきり涼しく(寒く)なりましたネ。

お腹出して寝たりしていませんか？

この夏、子供たちと遊びすぎて宿題を忘れたような妙な罪悪感を

感じている、(有)フロムワン 山本です。

皆さんは、どんな夏を過ごされましたか？



私は、子供たちが少し大きくなったことをいいことに、プールだ、川だ、バーベキューだ、と連れまわしてしまいました。

週末になると、短パンにサンダル姿。浮き輪片手に子供たちを引き連れ

「早く！、早くう〜！」と急かしている姿は父親というより、もはや近所の

ガキ大将と変わらなかつたことでしょう。反省……。

そんな夏も過ぎ去り、気がつけばもう今年も残り三ヶ月。

……え？ 三ヶ月？ が、がんばらねば……。

そんなわけで、今回もよろしくお付き合いください。



インターネットの話

そんなこともできるのか!?

<電話編>

このコーナーでは、インターネット環境を利用してできる、色々なサービスのご紹介をしていますが、電話編は今回が最後となります。

前回、「IP電話」と「ひかり電話」との違いを説明しましたが、今回は復習の意味も含め、内容を分かり易く表にしてみました。

「なんとなく」でもかまいませんので、イメージしてみてくださいネ。

<IP 電話>

<ひかり電話>

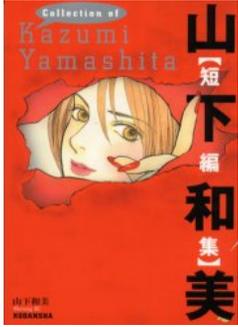
サービス提供会社	インターネットプロバイダ各社	NTT東日本 / 西日本
回線環境	ADSL以上のブロードバンド回線	NTT光ファイバーBフレッツのみ
電話番号	「050」で始まるIP電話番号	使用中の電話番号が使える。 「03」などの市外局番から始まる電話番号
同じサービス利用者同士の通話料金	無料	有料
国内固定電話への通話料金	全国一律 3分 8.4円	全国一律 3分 8.4円
付加サービス	キャッチホン、ナンバーディスプレイは可能。 ボイスワープ、ナンバーリクエスト 迷惑電話おことわりサービスは 不可 。	キャッチホン、ナンバーディスプレイ、 ボイスワープ、ナンバーリクエスト、 迷惑電話おことわりサービス 以上すべて 可能 。
FAX送受信	FAX送受信は原則 不可	メーカー保証はないが、 ほとんど問題なく交信 可能
フリーダイヤルへの発信	不可	発信可能
緊急電話番号への発信	不可	警察110番、消防119番、 故障受付113番、災害伝言ダイヤル 使用可能
警備会社のセキュリティサービス	不可	警備会社により対応可
主な発信 不可能 なサービス	緊急通報(110、119) フリーダイヤル(0120) ナビダイヤル(0570) 時報(117) 天気予報(177) 電報受付(115) 番号案内(104) など	伝言ダイヤル(0170) ダイヤルQ2(0990) お話中調べ(114)など
停電時	不通になりますので、バックUP装置(無停電電源装置)等の対策をお勧めします。	

い、いかがでしたでしょうか？(汗)

「さっぱりわからん、それでウチの場合はどうなんだ!？」と思われた方はお気軽にお問い合わせください。(汗)

次回はインターネットそんなこともできるのか? FAX編をお届けいたします。お楽しみに!

おすすめ本



講談社
著者 山下 和美

前回、前々回とお堅い内容の本が続きましたので……

10年程前、愛読していた某青年マンガ誌に読みきりで掲載された短編マンガが忘れられず、ついに作品の収められた短編集を手に入れてしまいました。その作品名は、「ROCKS」！！

リストラされた冴えない父親と衝突し、一方で父親と同年代のカリスマ的ロッカー「アキラ」に憧れる、高校生の「ヨシノブ」。

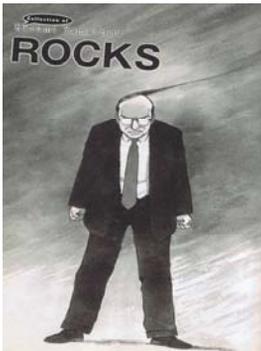
ところがそのさげすんでいたはずの父親と憧れの存在「アキラ」には、意外な接点が……。

そして物語は怒涛のラストシーンへ！！

また、10年前と同じく鳥肌が立ってしまいました(波目)

ロックに憧れ、ロックの衝動を忘れられないまま大人になってしまった全ての男子、必見です。

残酷な描写や、難解なストーリーのマンガばかりが話題となっている気がしますが、山下氏は素晴らしい構成力と筆力で、日常と非日常的な空間を表現できる稀有のストーリーテラーだと思います。収められた他の作品ももちろん、秀逸ですよ！



<編集後記>

この夏、お盆休みを利用して、実家の四国に帰省してきました。

その間に何度か子供たちと川遊びに出かけました。普段はお風呂に顔をつけることも苦手な娘なので少し心配でしたが……。

なんと、気がつくと、川面に顔をつつこんで「プハーッ！」「プハーッ！」といいながら水中の魚を追っかけているではありませんか！！さらにそのうち、浮き輪を上手に使い「バシャバシャ」とバタ足で自由に追いかけて始めました。ビックリしている私のことなどもちろん眼中にありません。「プハーッ！」「バシャバシャ」「プハーッ！」…… 恐るべし、野生児。

教室なんか行かなくても、楽しいことがあればできる様になっちゃうんですネ。

子供の適応力と、適応させる自然の魅力に感心した一日でした。

それでは、また！

